

伝統と創造、そして輝く君がい

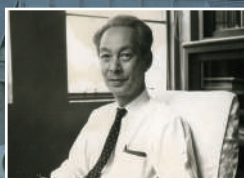
本校は、明治3年（1870年）開校の「京都府中学校」の流れをくむ「京都府立京都第一中学校」を前身とし、昭和25年（1950年）に開校しました。

二人のノーベル賞受賞者をはじめ著名な方々を輩出し、各界において指導的役割を担う人物を次々と世に送り出してきました。

自由と責任を重んじる校風は、歴史と伝統の中で築き上げられ、今日に至っています。



湯川 秀樹（物理学者）
ノーベル物理学賞
（1949年）



朝永 振一郎（物理学者）
ノーベル物理学賞
（1965年）

（写真提供：京一中洛北高校同窓会）

洛北高校の校訓

礼節の実践 学業に邁進 山水の愛護



洛北高校の歴史を見守るクスノキ



通気性がよく機能的な体育館



生徒たちを見守るソクラテス
校舎全面改築前にあった諄信館外壁の
浮き彫りが、正面玄関横の壁に復元さ
れています

*諄信館は京一中卒業生山口三郎氏寄贈の図
書館で、昭和5年竣工の建物でした



校舎と体育館をつなぐブリッジテラス



洛北高校のオープンスペースには
各界で活躍する先輩たちの写真が掲げられています



個性・能力をのばす3つのコース

普通科
文理コース

普通科
スポーツ
総合専攻

**サイエ
ンス科**
中高一貫コース

「文理コース」と「スポーツ総合専攻」は、高等学校三年間の教育をとおして生徒の個性や能力を伸ばし、未来を築くために必要な「豊かな人間力」をはぐくみます。

*サイエンス科については、高校からの募集はありません。

一人ひとりの「学びたいこと」や「挑戦」に応える

洛北の単位制

学年・ホームルームを学校生活の基本としつつ、それぞれの生徒の興味関心や進路希望に応える学校設定教科「洛北サイエンス」、独自の選択科目群「洛北総合選択」を設定しています。

それぞれの生徒が自己の適性や関心に応じて自己啓発や自己実現を行っていただけるよう、将来を見据えた資質の向上を目指し、何事にもチャレンジする生徒を応援します。

「文理コース」「スポーツ総合専攻」ともに京都市内はもちろん、府内全域から志願できます。

中高一貫教育

平成16年4月に附属中学校が開校しました。21世紀の社会を主体的に担っていくためには、高校卒業後の進路がどのような分野であっても科学の基本的な考え方や素養をしっかり身につけておくことが大切であることから、中高一貫教育の基本コンセプト「SCIENCE」に沿って、特色ある教育活動を展開しています。

平成30年度からは、高校普通科の中高一貫コースを新たな専門学科「サイエンス科」に改編しました。中高一貫教育や「洛北の単位制」の特徴を生かした独自の教育課程を設置し、中高一貫校としての教育活動をさらに充実させていきます。

制服

ネクタイ・リボンはいんじ色系とネイビー系の2種類、セーターはアイボリーとグレーの2種類があります。

女子のスラックス着用も可能です。

